



田迎の風

文責：校長 堀川 誠治

いよいよ夏休みが始まります。「自律の力」を身に付けるチャンスです！



暑い日が続いています。早いもので、今週末から夏休みです。

さて、私自身の小学校時代の夏休みを振り返ってみると、地域祭りの準備をしたり、近くの川にボラ釣りに行ったり、学校のプールに行ったりと、毎日外で遊びまわっていた思い出があります。当時は外で遊ぶのが当たり前でしたし、子どもたちが外で元気に遊んでいれば、親も安心していました。

しかし、社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境はよくも悪くも大きく変わりました。便利な世の中になった一方で、子どもたちを取り巻く環境は厳しくなり、危険が増えてきました。屋外で楽しそうに遊ぶ子どもの姿を想像しながらも、危ない目にあってないだろうか心配することもあります。

ある講演会に参加したときに、危機管理に対する日本とアメリカの保護者の考え方の違いが話題になりました。その話によると、日本の場合、子どもを守るために、大人が前面に出て危険を排除し、保護しようとする傾向にあるそうです。一方、アメリカの場合、危険から自分の身を守れるよう子どもを育てることに力を注ぐ傾向にあるそうです。

すでに成人していますが、私にも3人の子どもがいます。今振り返れば、子どもたちが危ない目に合わないように、先回りをして子育てをしていたような気がします。大人が子どもを守ることは大切です。それは正しいことであり、間違いだとは思いません。しかし、「様々な危険から自分の身を守れるように子どもを育てたか？」と聞かれれば、「う～ん」と考えてしまいます。

何事もそうですが、どうしたらいいのかわからずに困ったときに、自分の力で「何とか」乗り越えるという経験は、自分自身にとって大きな力となります。

私は、この「何とか」の部分がとても大切ではないかと思います。「自分で考え、あれこれと悩み、試行錯誤を繰り返して、解決のための道を探す」という経験が、予測困難なこれからの時代を生きていく子どもたちにとって、大切な財産になります。もちろん、「何とか」の部分が望ましい方法でない場合は、親として助言することが大切です。

保護者のみなさんは「子育て四訓」という言葉を聞いたことがありますか？これは、山口県下関市の教育者、「緒方 甫」氏の言葉で、子どもの発達段階に応じて、親と子どもの距離を離していくことをあらわしたものです。

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 乳児は しっかり 肌を離すな | ② 幼児は 肌を離せ 手を離すな |
| ③ 少年は 手を離せ 目を離すな | ④ 青年は 目を離せ 心を離すな |

厳密に分けることはできませんが、小学生の時期は、「子どもに寄り添い、見守ることが大切」というところでしょうか。命に直接かかわる場合は別として、子どもが困った場面に出合ったとき、親としては解決策をすぐにでも提示したいところです。しかし、まずは「ぐっ」とこらえて、子ども自身に解決策を考えさせ、必要に応じて助言をすることで、子どもは大きく成長できるかもしれませんね。

いよいよ夏休みに入ります。子どもたちは多くの時間を家庭や地域で過ごすこととなります。学校では体験できない様々なことを通して、「自律の力」を身に付けてほしいと思います。子どもたちは学校を離れますので、ご家庭や地域での見守りをよろしく願いいたします。

裏面もご覧ください。

「たむフェス」が行われました。

7月11日(金)に、「たむフェス」が行われました。4～6年生の子どもたちが縦割り班を作り、様々なアイデアを出し合って、楽しいゲームを考えてくれました。子どもたちの笑顔がいっぱいの素敵な時間でした。何よりも「いいなあ。」と思ったことが、自分たちだけが楽しむのではなく、「みんなと一緒に楽しみたい!」という思いが、子どもたちの姿にあふれていたことです。自分のためだけではなく、誰かの笑顔を想像し、そのために行動できる子どもたちに感動しました。

田迎小学校は、誰かのために行動できる素敵な子どもたちでいっぱいです。



夏休みも「早寝・早起き」を心がけましょう!

7月19日(土)から41日間の夏休みが始まります。いつもよりちょっぴり長い夏休みとなりますので、家族でいろいろなイベントやお出かけなどを考えておられるご家庭もあるのではないのでしょうか。子どもたちもやりたいことがいっぱいあると思いますので、この41日間で大切に、そして有意義に過ごしてほしいと思います。宿題や自主学习、家庭での手伝いなど、やるべきことにしっかりと取り組みながら、自分が楽しみにしていることや、がんばりたいことにも思いっきり挑戦してほしいと思います。

楽しい夏休みを過ごし、2学期を気持ちよくスタートさせるためにも、以下の点についてご協力をよろしくお願いいたします。

1 規則正しい生活

1つ目は、起きる時刻と寝る時刻を決めて、それを守らせていただきたいということです。夏休みの期間は、ついついだらだらと過ごしがちです。夏休みに「遅寝遅起き」の習慣がついてしまうと、短時間で元に戻すことがとても難しくなります。2学期をスムーズにスタートさせるためにも、規則正しい生活を送ることができるようにお子さんへの言葉かけをお願いします。

2 安心・安全な生活

2つ目は、子どもたちにとって「安心・安全な生活」を送ることができるよう、夏休み前にしっかりと家庭や学校のルールを確認し、それを守らせていただきたいということです。夏休みは、子どもたちだけで過ごす機会が多くなり、保護者の目が届かないことが増えてきます。熊本市でもSNS等の利用により、犯罪に巻き込まれる児童生徒が年々増加しています。子どもたちが事件や事故に巻き込まれず、「安心・安全な生活」を送ることができるようにご家庭でも言葉かけをお願いします。

以上、2点につきましては、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

8月29日に元気な子どもたちに会えることを職員一同楽しみにしています。

学校からのお知らせとお願い

○8月9日(土)～20日(水)は、学校閉庁日となります。この期間中、何かあれば熊本市教育委員会教育政策課(096-328-2704)に連絡してください。

○夏休みは子どもたちだけで遊ぶ機会が多くなります。交通事故防止や不審者対策、地域での過ごし方については、学校でも指導をしていますが、ご家庭でも言葉かけをよろしくお願いいたします。

○夏休み期間中、大きな事故等ございましたら、関係機関に連絡後、学校にもご連絡ください。

○2学期より、「子どもの平日休み」の制度が熊本市でも始まります。この制度は、子どもや家庭の状況に応じて、平日に休みがとれる制度です。年に3日まで取得することが可能です。制度を利用される際は、その旨担任までご連絡ください。